

平成22年度職員採用試験(大学卒業程度)
林業 専門記述試験(22. 6. 27)

= 課題 =

○ 森林・林業再生プランについて

我が国では、戦後植林した人工林が利用可能な段階に入りつつあるが、路網整備や施業の集約化の遅れなどから、林業生産性は低く、材価も低迷する中、森林所有者の林業に対する関心は低下しており、森林の適正な管理に支障を来すことも危惧されています。

一方、世界的な木材需要の増加や環境にやさしい木材の利用による低炭素社会づくりの推進など、木材利用の拡大に対する期待も高まっています。

このような状況を踏まえ、今後10年間を目途に、路網の整備、森林施業の集約化及び必要な人材育成を軸として、我が国の森林・林業を早急に再生していくための指針となる「森林・林業再生プラン」が平成21年12月に策定されたところです。

その中で、林業経営・技術の高度化について、次の検討事項を議論し、森林・林業政策を見直すこととしています。

- ① 路網・作業システム
- ② 日本型フォレスター制度の創設・技術者等育成体制の整備
- ③ 森林組合改革・民間事業体サポート

については、この3つの検討事項について、各々どのように取組むべきか「具体的な」提案を述べなさい。